

# KIEF NEWS

No.94 2024.9

## TOPIC

- 1 多文化共生に向けた新たな取り組み
- 2 事業報告
- 3 インターンシップ体験記

## ★TOPIC 1 多文化共生に向けた新たな取り組み

多文化共生社会の実現に向けて、今年度新たに始動した、外国人住民を対象とした事業を2つご紹介します。

### 地域の日本語教室「KIEFにほんごカフェ」

日本人との交流機会を求めていたり、日本語の理解に困っていたりする外国人住民が金沢市でも増えてきています。そこで、今年度から新たに、会話を楽しみながら日本語が学べる地域の日本語教室、「KIEFにほんごカフェ」を始めました！

「にほんごカフェ」の実施前には、リファーレ4階で日本語ボランティア32名を対象に、「日本語教室から始まる多文化共生の地域づくり」(講師:石川県国際交流協会 石津みなと氏)、「やさしい日本語」(講師:石川県日本語講師会)をテーマとした研修を開催し、準備を進めていきました。

5月から7月の第1期には16か国、延べ65人の外国人住民が参加し、自己紹介や食事、健康などのテーマを通して、自分のことや相手のこと、母国や普段の生活のことなどについてたくさん話しました。参加者からは「やさしい日本語で楽しく話せた」「文化による考え方や生活の違いを知ることができた」など、様々な感想を頂きました。

日本語教室の活動を通じて、日本人・外国人住民双方が暮らしやすい多文化共生の地域づくりを推進していきます。



### 外国人ママと赤ちゃん集まれ♪「外国人子育て応援サロン」

金沢国際交流財団では、金沢市福祉健康センターで乳幼児健診や赤ちゃん訪問を受ける外国人住民に対して、保健師との間のコミュニケーション支援を行う通訳ボランティアの派遣を行ってきましたが、育児中の外国人親子の中には、日本語の壁があることで、近くで子育ての悩みを相談したり、他の外国人親子と交流する機会がほとんどないことがわかりました。そこで、今年度から新たに、日本での子育ての悩みや不安を気軽に相談でき、他の外国人親子と交流を通して仲間づくりや子育て情報を共有し合う「外国人子育て応援サロン」を開催しました。



6月28日(金)に元町福祉健康センターにて第1回を開催し、外国人親子5組が参加しました。前半は、NPO法人子育て支援さくらっことさんによる、親子で体を使った楽しい遊びを紹介し、後半は、子育て情報交換会として英語とベトナム語の通訳ボランティアを紹介して「子どもと一緒に出かけのおすすめの場所」を紹介し合ったり、保健師から「ファミリーサポートセンター」、「まちの子育て保健室」などの情報を提供していただきました。

## ★ TOPIC 2 事業報告 (2024年2月～2024年8月)

## ボランティア研修会

## 2/12(月・祝) クルーズ船英語ボランティア研修会

金沢国際交流財団では、金沢港振興協会の依頼を受け、クルーズ乗客の観光に関する質問に英語で対応するボランティアを派遣しています。金沢港振興協会職員の方を講師に招き、リファーレ4階研修室で研修会を開催し、ボランティア22名が参加しました。活動に役立つ知識や、石川県のクルーズ船誘致の取り組みについてご講演いただきました。



## 3/9(土) 通訳ボランティア研修

## 「コミュニティ通訳とは～母子保健通訳の現場から考える～」

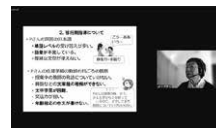
多言語コミュニティ通訳ネットワーク共同代表である飯田奈美子さんを講師に迎え、リファーレ4階大研修室にて、通訳ボランティアなど市民9名を対象に、外国人の地域生活に根ざした「コミュニティ通訳」の特徴や母子保健通訳の現場で起こりえるケーススタディから対人援助場面における通訳者の役割や倫理などお話をいただきました。



## 3/10(土) 外国につながる子どものための日本語支援 オンライン講演会

## 「学習に必要な日本語習得の支援を目指して～地域の日本語支援でできること～」

東京外国語大学名誉教授である小林幸江さんを講師に招き、地域の日本語支援関係者等を対象にオンライン講演会を開催し、18名が参加しました。「質の高い会話」「子どもに気付かせ考えさせることの大切さ」「読書の効用」など、すぐに地域の日本語支援の現場で活かそうなことを分かりやすく教えていただきました。



## 外国にルーツを持つ子どものための「KIEF子ども日本語ひろば」

金沢国際交流財団では、外国につながる子どもに対して、ボランティアがマンツーマンで日本語支援を行う日本語教室「KIEF子ども日本語ひろば」を、リファーレ2階のKIEFひろばで開催しています。一人ひとりのニーズに応じた基礎的な日本語支援と、居場所づくりを目的として、主に日曜日の午前中に活動を行っています。現在、小学生から高校生まで合わせて14名が、ボランティア35名のサポートを受けて、日本語の勉強を頑張っています。皆さんの周りに対象となる子どもがいれば、ぜひ紹介してください。



日本語ひろば(学習風景)

## 「日本語ひろば」学習者内訳

(2024年7月21日現在)

・小学生4名：1年1名、4年1名、5年1名、6年1名
・中学生4名：1年1名、2年1名、3年2名
・高校生6名：1年3名、2年2名、その他1名

学習者の出身地：中国、ロシア、ネパール、タイ、フィリピン、ミャンマーなど

日本語ひろばでは、日本語学習にとどまらず、子どもたちやその保護者、ボランティアが一堂に会し交流ができるよう、毎期末に交流会を開催しています。3月24日には学習者とその家族6名とボランティア10名が集まり、公園でゲームをしたり子どもたちに自分の国や得意なことを発表してもらったりしました。新規の学習者が増えた7月21日には、学習者とその家族18名、ボランティア16名と多くの方が参加され、夏らしくうちわの工作をしたり、かき氷を作って食べたりして交流を深めました。



日本語ひろば交流会

## 国際理解講座

## 2/18(日) 国際理解講座「公用語3つの国 ベルギーの多言語文化って?」

ベルギーはオランダ語・フランス語・ドイツ語の3言語が公用語として使われる、多言語国家です。ベルギー出身国際交流員のラーニさんを講師に迎え、多言語文化に焦点を当てベルギーを紹介する講座を実施し、リファーレ2階KIEFひろばにて参加者24名が聴講しました。歴史や政治、日常生活などあらゆる角度からベルギーの多言語文化を学び、また、ご自身も多言語話者であるラーニさんから、言語習得のアドバイスもいただきました。



## 4/28(日) 英語 de 異文化理解～イギリス・フィリピン～

県内で暮らす外国人が母国について紹介する国際理解講座を、全編英語で行いました。リファーレ2階KIEFひろばにて、24名が参加し、イギリス出身国際交流員エリーさんと、県内大学の研究生でフィリピン出身のエイドリアンさんから、それぞれの母国の魅力を紹介していただきました。食や観光スポットなどの話題から、世界的に有名なイギリス文学や、195も言語があるフィリピンの言語事情など、両国独自の文化についても楽しく学びました。



## 6/22(土) 異文化体感! ワールドクッキング教室～韓国料理～

食を通して異文化にふれる、ワールドクッキング教室。今回は韓国出身国際交流員イジミンさんを講師に迎え、中央公民館長町館にて開催し、22名が参加しました。今回作ったのは、「チュモツパ(韓国式おにぎり)」、「キンマリ(春雨天ぷら)」、「ロゼトツポキ」の計3品。ジミンさんからは韓国の食文化についても教えていただきました。一緒に料理をしていると参加者同士も仲良くなれるのが料理教室の醍醐味! 皆で楽しい時間を過ごしました。





## こども・青少年向けイベント

## 5/11(土) 親子で世界を学ぼう！～ブラジル～

世界の料理やクラフト、言語、遊びなどの体験を通して、親子で異文化への興味、関心を高める「親子で世界を学ぼう」の第1回は、中央公民館長町館で開催し、ブラジル出身の池本ベティさんから、小学生親子11組が、ブラジルで子どもの誕生日によく食べられる練乳とココアパウダーを使ったお菓子「プリガテイロ」を教わりました。ベティさんからブラジルの食文化や小学校生活についても楽しい紹介があり、遠いブラジルがとても身近に感じることができました。



## 7/20(土) 親子で世界を学ぼう！～インドネシア・タイ～

「親子で世界を学ぼう」の第2回は、リファーレ2階KIEFひろばで開催し、小学生親子9組（20名）が参加しました。インドネシア出身のパニヤ・カナガ・イクバルさんと、タイ出身のジュンローボン・ブッサカーン（ベント）さんから、文化紹介やインドネシアの遊び「ペン入れ競争」、タイ語で自分の名前を書く体験を通して、両国の文化を教わりました。親子そろってにぎやかに、そして楽しく異文化に触れられるイベントとなりました。



## 7/20(土) 第3回 高校生・大学生と留学生の交流会

若者同士が気軽におしゃべりをして交流するこのイベント。第3回目は、リファーレ2階KIEFひろばで、高校生8名、大学生7名、留学生8名が参加しました。最初に全体でアイスブレイクのゲームをしてから、希望の言語（日本語・英語）を基に少人数グループに分け、できるだけたくさんの人と話せるよう、20分間のトークを、メンバーを入れ替え3回行いました。あちこちから笑い声が響き、国際交流の楽しさを体感できた一日でした。



## 地域連携事業

## 6/15(土) 杜の里児童館共催イベント「せかいのおともだちをつくらう！」

地域に暮らす外国人親子と日本人親子の交流を深めることを目的としたイベントを、杜の里児童館で開催し、計35名が参加しました。インドネシア出身のティアンさんご夫婦にインドネシアの文化を紹介していただき、伝統の人形劇「ワヤン」や民族楽器「アングルン」の楽器体験を楽しみながら、交流を深めました。保護者同士の喋りの時間も設け、ボランティアの通訳を介しながら、育児の悩みや互いの文化についてなど、話が盛り上がりしました。



## 留学生支援事業

## 4/3(水) 留学生生活ガイダンス@金沢星稷大学

金沢国際交流財団では、市内の各大学に出向き、市役所の担当課と連携しながら、来日したばかりの留学生のための生活ガイダンスを行っています。4月3日には、金沢星稷大学で新規留学生15名を対象にガイダンスを行い、ごみの捨て方、国民健康保険、留学生が参加できる国際交流イベントなどについて説明しました。元日に発生した令和6年能登半島地震や当日に台湾で起きた花蓮地震を受けて、災害時に役立つ情報もお知らせしました。



## 5/18(土) 留学生ホームビジット

5月18日に今年度1回目のホームビジットを開催し、市内の留学生20名、ホストファミリー9家庭が参加しました。当日は天気にも恵まれ、一緒に買い物をしたり浴衣を着て散歩したり、家で料理を作ったりゲームをしたりするなど、様々に交流を楽しんだようです。留学生からは「学校だとなかなか経験できないことを経験することができた」「今回参加したことでより日本の生活への理解を深めることができた」と感想をもらいました。



## 5/25(土) 浴衣を着て長町武家屋敷跡を歩こう！

「日本に来たからにはいつか浴衣を着たい！」という留学生のみなさんの願いを叶えるべく、着付けが得意なボランティア9名の協力を得て、毎年恒例の浴衣体験イベントを実施しました。着付けした留学生19名は、ボランティア含む参加者全員でグループを組み、長町武家屋敷跡を散策しました。ボランティアからまちの歴史を教えてもらったり、風情ある街並みを背景にたくさん写真を撮ったりと、金沢の文化を堪能した一日でした。



## 7/13(土) 夏の国際交流会～金沢の夏を堪能しよう！～

酷暑が続く今夏。そんな日々でも留学生に金沢の夏を楽しんでもらおうと、7月13日に夏の国際交流会を開催し、留学生14名とボランティア8名が参加しました。大正時代の町家を改修した金沢学生のまち市民交流館で、前半は夏の和菓子を食べながら交流し、後半は日本の夏の風物詩、盆踊りを体験！市民に馴染みのある踊りを踊って、慣れないリズムや振り付けに苦戦しながらも、暑さを吹き飛ばすくらいの元気で大いに盛り上がりました。



その他、2/17(土) 姉妹都市オンライン文化体験&交流会（金沢市国際交流課主催）

6/4(火)、5(水) ニューヨーク州立バッファロー大学 ホームステイプログラム（金沢大学主催）

6/13(木) 令和6年度 第1回国際交流団体連絡会

7/5(金) 第31回北陸都市国際交流連絡会総会・研修会

8/3(土) 令和6年度 金沢国際交流財団 新規ボランティア登録説明会

## ★ TOPIC 3 インターンシップ体験記

### フランスナンシー市インターン生

金沢市役所のインターンシッププログラムに参加の、姉妹都市フランスナンシー市から受け入れた大学生2名が、金沢国際交流財団では4日間就業体験を行い、市民のみなさんとの交流イベントに参加しました。また、金沢国際交流財団登録のホストファミリー宅にてホームステイも体験しました。



**アントワヌ・バセさん**

金沢国際交流財団での活動は素晴らしい経験でした。特に、兄弟がいない私にとって、子供たちがいるホストファミリーと一緒に過ごした時間はとても楽しかったです。たくさんのアクティビティをし、たくさんの良い思い出を作りました。

また、交流イベントをリードすることで、興味深く、様々な人々と話すことができ、洞察力に富んだ経験となりました。フランスと日本には対照的な文化があるもので、この違いから誰もが学べると思います。また、日本人が英語やフランス語を上手に話せることにも驚きました！

この機会を与えてくれた金沢国際交流財団の皆様には感謝しております。



**ティヌヴィエル・クロワッサンさん**

国際交流ワークショップにて、日本人にフランス文化を紹介し、外国語で会話をし、皆さんの恥ずかしさを超えるサポートができてとても楽しかったです。大人のグループはすでに英語の知識が豊富で、とても驚きました。そのおかげで会話の流れがより自然になりました。子どもたちは、自分の考えを説明するのに苦労したり、恥ずかしがってなかなか話をしなかつたりしましたが、それでも楽しい時間を過ごせたなら嬉しいです。

私のホストファミリーはとても親切でした！たくさんのアクティビティを計画してくれていたため、退屈することはなく、夕食も本当に楽しかったです。彼らは英語をよく話せたので、コミュニケーションは問題ではありませんでした。

この一週間、私たちを迎えてくれたKIEFのスタッフの皆様には、心からお礼を申し上げます。

### 金沢大学大学院インターン生

金沢大学大学院博士課程の留学生が、6月から8月にかけて、インターンとして金沢国際交流財団の様々な事業で就業体験を行いました。



**マイマイティニヤス・マムティさん**

Yaxshimusizler! 皆さん、こんにちは！ウイグル出身のインターン生Muhammadです。私はウイグルの歴史的都市であるヤルカンドで生まれ、歴史的な街並みが大好きです。現在、金沢大学大学院生として、金沢の街並み保存地区における社会経済的効果を評価する研究を行っています。今回の国際インターンシップに応募した理由は、国際交流が好きで、市民や外国人と交流し、国際文化と地域社会への理解を深めたいと考えたからです。

今回のインターンシップを通じて、短い間ではありますが、多くの日本人市民や外国人、小学生から大学生まで、さまざまなバックグラウンドを持つ方々と楽しく交流することができました。日本人ボランティアの方々から金沢の伝統文化や観光について詳しくお話を伺い、自分の研究にも役立つアイデアを得ることができました。各イベントや自分が担当した業務を通じて、多くの新しい発見がありました。また、私の娘と息子も国際交流イベントに参加し、外国にルーツを持つ子供たちと一緒に歌ったり踊ったりして、楽しそうな姿を見せてくれました。

毎回のイベントで、財団の職員の皆様が非常に優しく、親切にサポートしてくださり、心から感謝しています。今後ともよろしくお願いたします。

## かなざわ国際交流まつり2024

国際交流団体が参加する北陸最大級の国際交流イベント「かなざわ国際交流まつり」。世界のダンスや音楽が楽しめるワールドステージ、世界の料理を味わえるワールドグルメ、世界の民芸品やフェアトレード商品を販売するワールドバザール、文化体験など大人も子どもも楽しめるイベントが盛りだくさんです。みなさんのご来場、お待ちしております！

- 日 時：2024年10月12日(土)・13日(日) 10:00～15:00
- 会 場：金沢市庁舎前広場
- 入場料：無料／雨天決行
- 問合せ：かなざわ国際交流まつり2024運営委員会（金沢国際交流財団内）TEL 076-220-2522



発行・問い合わせ先



**KANAZAWA  
INTERNATIONAL  
EXCHANGE  
FOUNDATION**

## (公財)金沢国際交流財団

〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファール2F

TEL(076) 220-2522

FAX(076) 220-2527

URL : <http://www.kief.jp>

E-mail : [kief@kief.jp](mailto:kief@kief.jp)



LINE



Instagram

